

2020年度学習支援計画書(シラバス)

科目名			担当講師		
服飾造形			植田 伊都子		
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数	
必修	実技	技術科ファッション専攻	1	480	時間
担当講師の経歴又は実務経験					
服飾専門学校卒業後、留学、デザイナー、パタンナーを経験後、桜丘学園へ入職。					
授業概要					
ファッションデザイン、マテリアルワークと連動し、自分の作りたいイメージを確立する。 1年を通し、作品製作を行う。					
学習到達目標					
自分を知り、コンセプトを立て、リサーチしてアイデアをブラッシュアップし、作品を製作する。					
テキスト及び教材					
文化ファッション大系服飾造形講座、ファッションデザインリサーチなど					
授業内容					
回	テーマ	内 容			
1~15	自己探求	自分の作りたいイメージを確立し、興味のあるものをリサーチし、アイデアをブラッシュアップする。			
16~124	夏に向けた作品製作	デザインを検討し確定する。			
		人体構造や運動機能、素材特性を考え、平面製図、立体裁断技術をいかし、デザイン発想力と表現力を身に着ける。			
		作品を製作する。			
		小物など付属品の作成			
125~140	ポートフォリオ製作	ポートフォリオを製作する。			
141~150	まち飛び作品	行事販売用の商品製作			
151~165	自己探求	自分の作りたいイメージを確立し、興味のあるものをリサーチし、アイデアをブラッシュアップする。			
166~315	春に向けた作品製作	デザインを検討し確定する。			
		人体構造や運動機能、素材特性を考え、平面製図、立体裁断技術をいかし、デザイン発想力と表現力を身に着ける。			
		作品を製作する。			
		小物など付属品の作成			
316~330	ポートフォリオ製作	ポートフォリオを製作する。			

2020年度学習支援計画書(シラバス)

科目名			担当講師		
服飾造形			植田 伊都子		
授業科目区分	授業形態	学科名	学年	時間数	
必修	実技	技術科ファッション専攻	1	480	時間
成績評価の方法及び基準					
構造理解度、製作知識度、作品完成度、表現力などを授業内、提出物により評価する。 なお全体出席の2/3以下の場合は、成績評価の対象外となります。					
評価		成績評価の到達度			
A	優れている	理解、知識、表現にすぐれている			
B	普通	一定の理解、知識があり、表現ができる			
C	やや劣る	ある程度の理解、知識があり、表現ができる			
D	劣る	理解、知識、表現がやや不足している			
E	不合格	理解、知識、表現が不足している			